

基本的な防災用品キットに入れる 推奨用品：

- 水 - 1人1日分として1ガロン（約4リットル）の水を最低3日分、飲料水と衛生用に用意してください。
- 食料 - 最低3日分の保存食品。
- 乾電池式ラジオか、あるいは手回しラジオ、及び警戒警報付きの NOAAウェザーラジオと交換用電池。
- 懐中電灯と交換用電池。
- 救急用品
- 助けを呼ぶための笛。
- 汚染された空気をフィルターするための防塵マスク。 屋内退避するためのビニールシートとダクトテープ。
- 衛星用のウェットティッシュ、ゴミ袋、プラスチックの袋止め。
- 電気、ガス、水道を止めるために使うスパナやペンチ。
- 食べ物を開けるための缶切り（防災用品キットに缶詰が入っている場合。）
- 地域の地図

Readyキャンペーンを行い

米国国土安全保障省は米国国民に対して、基本的な手段を取り、自然災害及びテロ脅威などの緊急事態へ備え、対処するために、教育と奨励を行っています。Readyキャンペーンでは、各自に次の3つの重要なことを実施するよう求めています。：防災用品の用意、家族の緊急時計画作り、起こる可能性がある様々な種類の緊急事態に関する情報収集 及び適切な措置。

米国人はすべて、ある程度の基本的な防災用品を用意し、緊急事態発生時に最低3日間生き延びられるようにする必要があります。防災用品キットに入れておく必要のある、基本的な物のリストが以下にあります。但し、各自がこのリストを検討し、家族のニーズを満たした防災用品キットを用意するために、住んでいる場所と家族独自のニーズについて考えましょう。また、各自最低2つの防災用品キットを用意し、ひとつは自宅用の十分なキット、そしてもうひとつは、職場、車、その他時間を過ごす場所用に、小さめの持ち運びができるキットを用意することも検討しましょう。


Ready
Prepare. Plan. Stay Informed.



米国国土安全保障省
ワシントン DC 20528



防災用品キットに入れる物として検討する追加用品：

- ❑ 処方箋薬及び眼鏡
- ❑ 粉ミルク及びオムツ
- ❑ ペットフード及びペット用の水
- ❑ 携帯防水容器に入れた保険証書、身分証明書、及び銀行口座記録の写しなどの家族の重要書類。
- ❑ 現金またはトラベラーズチェック及び小銭
- ❑ 応急手当や www.ready.govによる情報などの緊急時の参考資料。
- ❑ 人数分の寝袋または温かい毛布。寒冷地に住んでいる人は、予備の寝具。
- ❑ 長袖シャツ、長ズボン、及び頑丈な靴を含めた 着替え一式。寒冷地に住んでいる人は、予備の着替え。
- ❑ 家庭用塩素系漂白剤及び薬用スポイト- 漂白剤を9倍の水で薄めると 消毒剤として使用できます。あるいは、緊急時の場合には、1ガロン（約4リットル）の水に対して、標準の家庭用漂白剤16滴を溶かし水の浄化に使用することができます。香りの付いたものや色物用漂白剤、あるいは洗剤入りのものは使用しないでください。
- ❑ 消火器
- ❑ 防水容器に入れたマッチ
- ❑ 生理用品及び個人衛生用品。
- ❑ キャンプ用食器（飯ごう）、紙コップ、紙皿、及びプラスチック製ナイフ・フォーク・スプーン、ペーパータオル
- ❑ 紙及び鉛筆
- ❑ 子ども用の本、ゲーム、パズル、及びその他の遊び道具



Ready

Prepare. Plan. Stay Informed.



防災用品 リスト



Homeland Security

www.ready.gov